

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）

【会社名】 大同信号株式会社

【英訳名】 Daido Signal Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北原文夫

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋六丁目17番19号（新御成門ビル）

【電話番号】 03 - 3438 - 4111（大代表）

【事務連絡者氏名】 上席執行役員財務統括部長 浅田安彦

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋六丁目17番19号（新御成門ビル）

【電話番号】 03 - 3438 - 4111（大代表）

【事務連絡者氏名】 上席執行役員財務統括部長 浅田安彦

【縦覧に供する場所】 大同信号株式会社 大阪支店

(大阪市福島区福島五丁目1番12号
(阪神福島駅ビル))

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第67期 第2四半期 連結累計期間	第68期 第2四半期 連結累計期間	第67期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	8,201,615	8,741,747	22,276,099
経常利益	(千円)	313,238	456,355	1,654,490
四半期(当期)純利益	(千円)	217,510	275,215	1,174,028
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	155,077	564,110	1,825,382
純資産額	(千円)	14,844,326	16,934,084	16,514,122
総資産額	(千円)	31,250,334	34,717,163	36,101,626
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	12.20	15.44	65.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	36.8	38.6	36.1
営業活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	1,706,558	2,083,585	1,650,925
投資活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	1,199,838	479,578	1,001,282
財務活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	1,223,061	768,524	788,735
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,568,676	4,159,203	3,323,720

回次		第67期 第2四半期 連結会計期間	第68期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	14.93	19.63

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米経済の不安感を払拭できず、また中国をはじめとした新興国の経済成長の減速など世界経済の先行きはますます不透明感を増してきました。

一方で、わが国経済は「アベノミクス」による経済政策への期待感を背景に円高の是正や株価の上昇等、ゆるやかな持ち直しの傾向がみられ景気回復にむけた兆しが現れるなど、企業を取り巻く環境はゆるやかに回復してきました。

このような状況のもと、当社グループは受注の獲得と拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は87億41百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益は1億68百万円（前年同期比31.0%増）、経常利益は4億56百万円（前年同期比45.7%増）、四半期純利益は2億75百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

[鉄道信号関連事業]

鉄道信号関連事業については、運行管理システム等のシステム製品及び踏切障害物検知装置・閉塞装置・ATS地上子等のフィールド製品は減少しましたが、ATC（自動列車制御装置）・電子連動装置等のシステム製品及び軌道回路・集中監視装置などのフィールド製品が増加し、売上高は77億85百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は6億46百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

[産業用機器関連事業]

産業用機器関連事業については、金属メッキ及び可塑成形は減少しましたが、非接触IDシステム・梯子車・高所放水車制御装置・エネルギー監視システム・鉄道車両用ブレーキ自動隙間調整器等が増加し、売上高は7億71百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業については、売上高は1億84百万円（前年同期比68.1%増）、セグメント利益は90百万円（前年同期比76.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億84百万円減少し、347億17百万円となりました。これは、たな卸資産が17億30百万円、現金及び預金が9億77百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が45億79百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ18億4百万円減少し、177億83百万円となりました。これは、短期借入金が4億34百万円、未払法人税等が4億70百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億19百万円増加し、169億34百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2億7百万円、利益剰余金が1億50百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億35百万円増加し、41億59百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、20億83百万円の増加（前年同期は17億6百万円の増加）となりました。これは、たな卸資産の増加により17億30百万円資金が減少しましたが、売上債権の回収により45億79百万円資金が増加したことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、4億79百万円の減少（前年同期は11億99百万円の増加）となりました。これは、有価証券の取得による支出により3億円資金が減少したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、7億68百万円の減少（前年同期は12億23百万円の減少）となりました。これは、借入金の返済による支出が5億49百万円、配当金の支払額が1億24百万円などによりそれぞれ資金が減少したことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3億36百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	30,000,000
合計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,018,000	18,018,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
合計	18,018,000	18,018,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日	-	18,018,000	-	1,500,039	-	1,233,716

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本電設工業株式会社	東京都台東区池之端一丁目2-23	2,095	11.63
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3-3	875	4.86
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1-2	840	4.67
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目13-1	821	4.56
朝日生命保険相互会社	東京都千代田区大手町二丁目6-1	715	3.97
日本リーテック株式会社	東京都千代田区神田錦町一丁目6	655	3.64
大同信号取引先持株会	東京都港区新橋六丁目17-19	614	3.41
日新火災海上保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台二丁目3	555	3.08
戸部 政彦	埼玉県三郷市	545	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7-1	544	3.02
計		8,263	45.86

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 197,000	-	単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,544,000	17,544	同上
単元未満株式	普通株式 277,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	18,018,000	-	-
総株主の議決権	-	17,544	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式200株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 大同信号株式会社	東京都港区新橋六丁目 17-19	197,000	-	197,000	1.1
合計		197,000	-	197,000	1.1

2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清和監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,546,136	4,523,810
受取手形及び売掛金	9,310,764	4,731,479
有価証券	100,006	400,034
商品及び製品	2,588,572	2,673,585
仕掛品	3,626,315	4,824,617
原材料及び貯蔵品	1,864,514	2,311,918
その他	665,152	726,403
貸倒引当金	13,144	11,326
流動資産合計	21,688,317	20,180,522
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,466,245	6,466,245
その他(純額)	3,173,884	3,076,773
有形固定資産合計	9,640,130	9,543,019
無形固定資産	161,863	159,495
投資その他の資産		
投資有価証券	3,937,657	4,310,762
その他	673,656	526,063
貸倒引当金	-	2,700
投資その他の資産合計	4,611,314	4,834,126
固定資産合計	14,413,308	14,536,641
資産合計	36,101,626	34,717,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,289,684	4,402,350
短期借入金	3,779,000	3,344,200
未払法人税等	507,846	37,219
賞与引当金	736,193	562,409
役員賞与引当金	32,440	15,084
製品補修引当金	355,786	300,988
受注損失引当金	12,766	12,766
その他	1,592,400	897,811
流動負債合計	11,306,117	9,572,828
固定負債		
長期借入金	1,931,900	1,817,300
退職給付引当金	2,171,722	2,189,820
役員退職慰労引当金	119,483	106,154
製品補修引当金	230,000	230,000
特別修繕引当金	75,000	82,500
その他	3,753,280	3,784,476
固定負債合計	8,281,386	8,210,250
負債合計	19,587,503	17,783,079

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	9,445,910	9,596,362
自己株式	53,936	54,721
株主資本合計	12,125,730	12,275,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917,873	1,124,985
その他の包括利益累計額合計	917,873	1,124,985
少数株主持分	3,470,517	3,533,701
純資産合計	16,514,122	16,934,084
負債純資産合計	36,101,626	34,717,163

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	8,201,615	8,741,747
売上原価	6,033,306	6,473,600
売上総利益	2,168,308	2,268,146
販売費及び一般管理費	2,039,594	2,099,527
営業利益	128,713	168,618
営業外収益		
受取配当金	42,393	48,445
負ののれん償却額	139,841	139,841
出資金償還益	-	132,976
雑収入	42,335	11,832
営業外収益合計	224,570	333,096
営業外費用		
支払利息	33,862	37,779
雑損失	6,182	7,580
営業外費用合計	40,045	45,360
経常利益	313,238	456,355
特別利益		
固定資産売却益	28	-
特別利益合計	28	-
特別損失		
固定資産除却損	210	24
特別損失合計	210	24
税金等調整前四半期純利益	313,057	456,330
法人税、住民税及び事業税	35,518	41,232
法人税等調整額	46,829	89,511
法人税等合計	82,347	130,743
少数株主損益調整前四半期純利益	230,709	325,587
少数株主利益	13,199	50,371
四半期純利益	217,510	275,215

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	230,709	325,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,632	238,523
その他の包括利益合計	75,632	238,523
四半期包括利益	155,077	564,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,281	482,327
少数株主に係る四半期包括利益	4,796	81,783

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313,057	456,330
減価償却費	221,165	224,476
負ののれん償却額	139,841	139,841
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,177	881
役員賞与引当金の増減額(は減少)	11,845	17,356
賞与引当金の増減額(は減少)	102,328	173,784
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	42,088	13,329
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,796	18,097
製品補修引当金の増減額(は減少)	10,257	54,797
受注損失引当金の増減額(は減少)	9,000	-
その他の引当金の増減額(は減少)	54,300	7,500
受取利息及び受取配当金	43,081	49,110
支払利息及び社債利息	33,862	37,779
固定資産除却損	210	24
売上債権の増減額(は増加)	4,349,260	4,579,284
たな卸資産の増減額(は増加)	2,000,825	1,730,718
仕入債務の増減額(は減少)	502,419	112,665
未払費用の増減額(は減少)	174,832	137,573
未払消費税等の増減額(は減少)	23,603	185,282
その他の流動資産の増減額(は増加)	47,990	49,086
その他の流動負債の増減額(は減少)	265,938	319,360
その他	3,637	8,008
小計	2,123,042	2,558,792
利息及び配当金の受取額	43,081	49,110
利息の支払額	33,888	38,095
法人税等の支払額	425,676	486,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,706,558	2,083,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	372,334	320,242
定期預金の払戻による収入	238,158	178,051
有形及び無形固定資産の取得による支出	299,370	195,261
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,620,646	-
有価証券の取得による支出	-	300,028
投資有価証券の取得による支出	3,380	2,726
貸付金の回収による収入	2,489	12,323
その他	13,628	148,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,199,838	479,578

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	925,000	430,000
長期借入金の返済による支出	80,300	119,400
社債の償還による支出	62,500	62,500
自己株式の取得による支出	617	785
リース債務の返済による支出	11,622	12,570
配当金の支払額	124,421	124,668
少数株主への配当金の支払額	18,600	18,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,223,061	768,524
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,683,334	835,482
現金及び現金同等物の期首残高	1,885,342	3,323,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,568,676	4,159,203

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	38,500千円	- 千円
支払手形	267,825千円	- 千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料諸手当	585,849千円	572,089千円
賞与引当金繰入額	149,378千円	160,903千円
役員賞与引当金繰入額	16,263千円	17,524千円
退職給付引当金繰入額	41,849千円	49,624千円
役員退職慰労引当金繰入額	17,329千円	16,936千円
減価償却費	39,197千円	38,210千円
製品補修費	116,946千円	143,576千円
研究開発費	326,015千円	336,722千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	3,985,367千円	4,523,810千円
預入期間が3ヶ月超の定期預金	416,690千円	364,607千円
現金及び現金同等物	3,568,676千円	4,159,203千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	124,790	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	124,763	7	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄道信号 関連事業	産業用機器 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,390,086	701,602	109,927	8,201,615	-	8,201,615
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,744	255,165	-	282,910	282,910	-
計	7,417,831	956,767	109,927	8,484,525	282,910	8,201,615
セグメント利益又は 損失()	624,327	5,425	51,023	669,924	541,211	128,713

(注)1 セグメント利益の調整額 541,211千円には、セグメント間取引消去 9,599千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 531,612千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄道信号 関連事業	産業用機器 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,785,071	771,855	184,820	8,741,747	-	8,741,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,820	240,267	3,880	264,968	264,968	-
計	7,805,891	1,012,122	188,700	9,006,715	264,968	8,741,747
セグメント利益	646,213	11,404	90,183	747,801	579,182	168,618

(注)1 セグメント利益の調整額 579,182千円には、セグメント間取引消去 48,017千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 531,164千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12.20円	15.44円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	217,510	275,215
普通株主に帰属しない金額	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	217,510	275,215
普通株式の期中平均株式数(株)	17,826,254	17,822,203

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

大同信号株式会社
取締役会 御中

清 和 監 査 法 人

指 定 社 員 業 務 執 行 社 員	公 認 会 計 士	川 田 増 三	印
指 定 社 員 業 務 執 行 社 員	公 認 会 計 士	大 塚 貴 史	印
指 定 社 員 業 務 執 行 社 員	公 認 会 計 士	戸 谷 英 之	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大同信号株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大同信号株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。